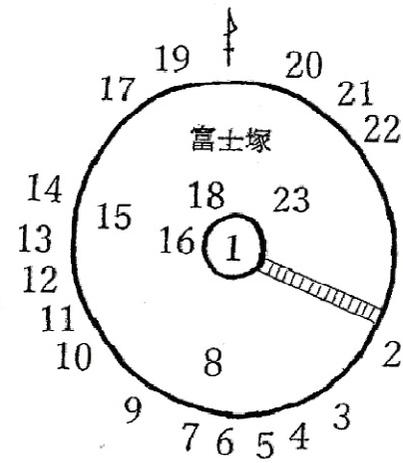


一・恩間にある修験者の富士塚

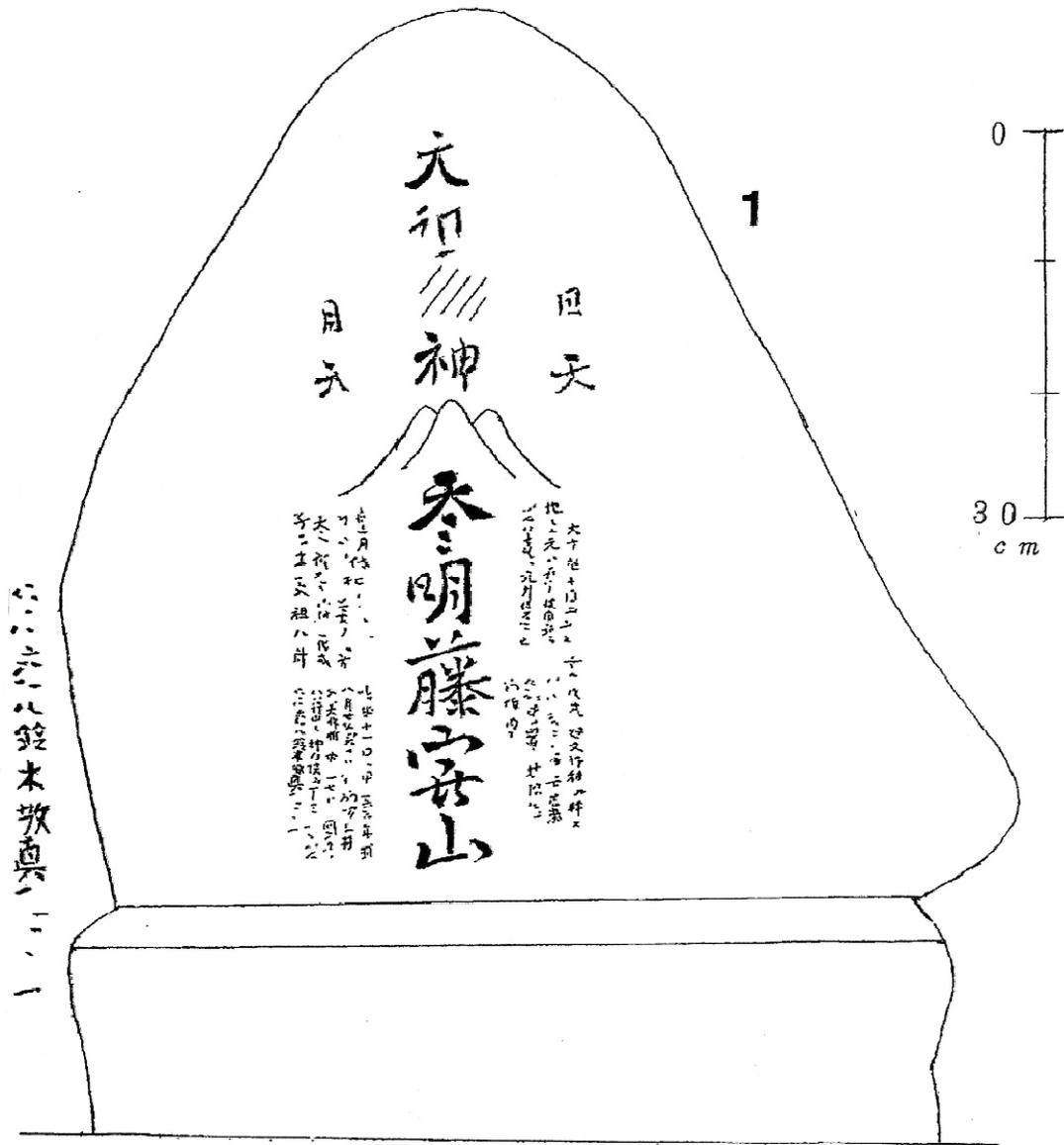
加藤 幸一

「富士塚」とは、富士講の人たちが富士山に模して築いた塚(小山)で、順天堂越谷病院北西の修験道の家柄だった民家の敷地内に現存している。明治の半ばに造られたと思われる。そこに設置された23基の石塔について紹介する。

図中の番号は、石塔の通し番号である。

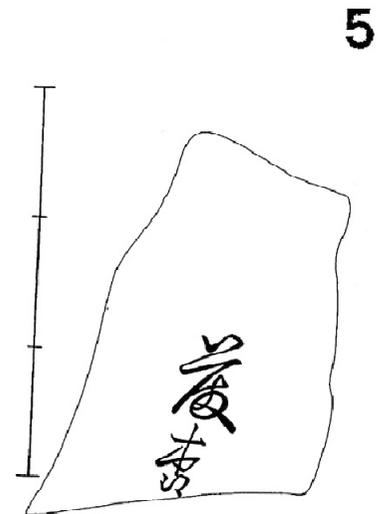
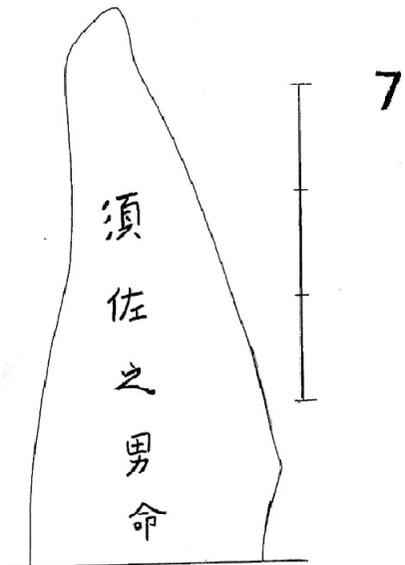
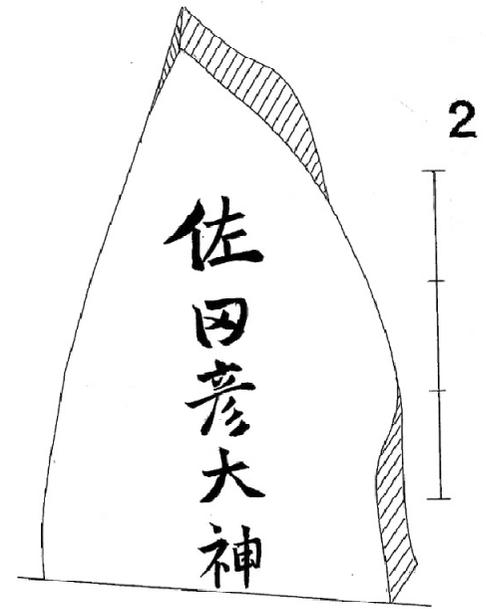
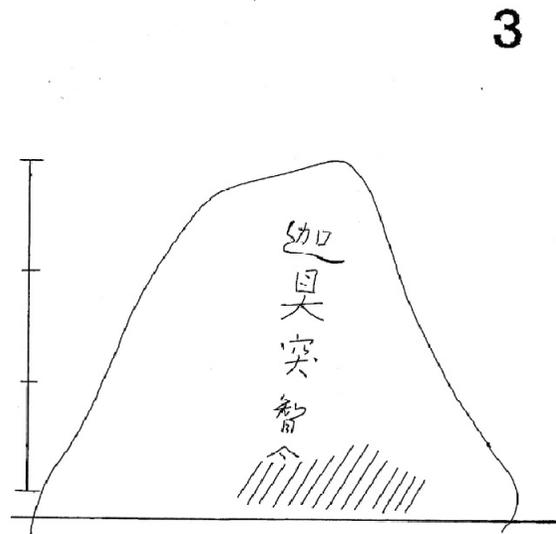
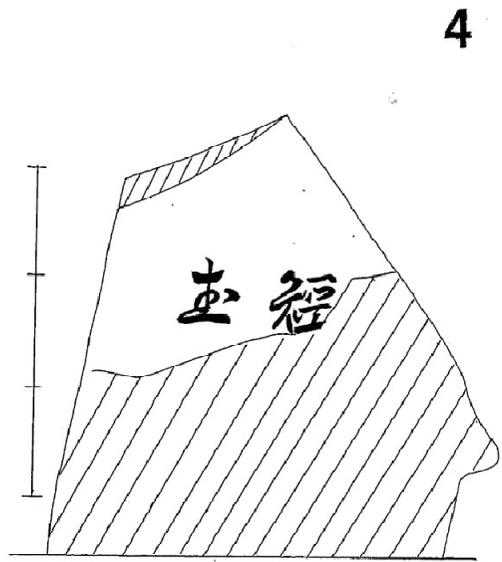


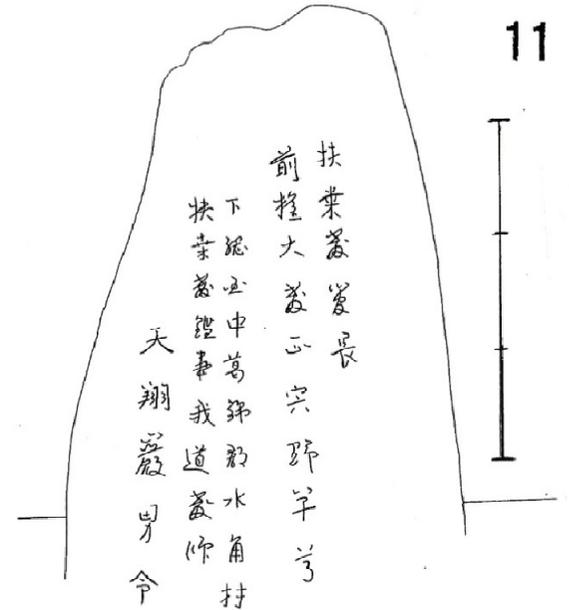
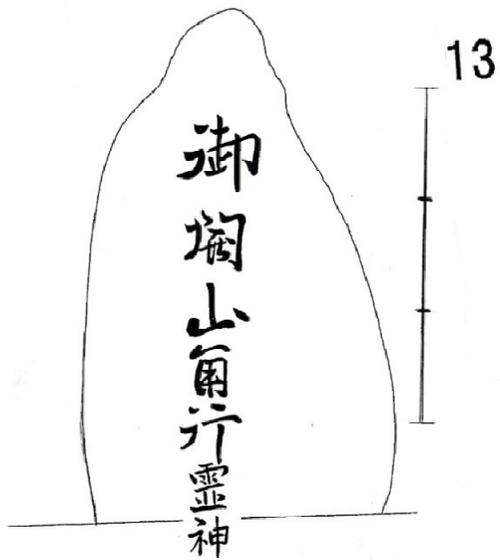
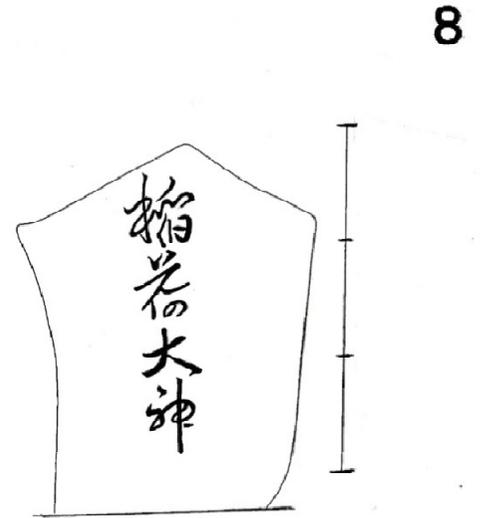
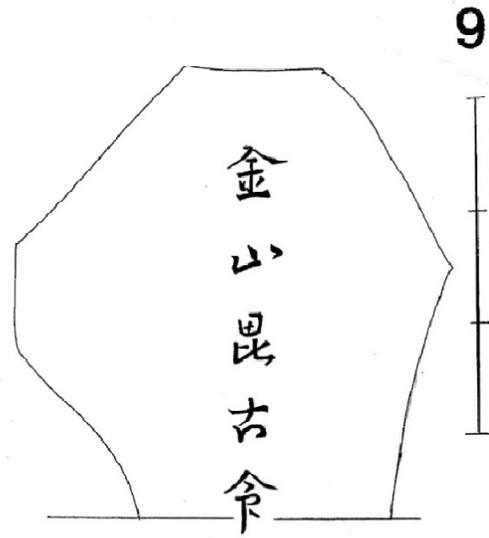
高さ約1.7メートル、直径約8メートル

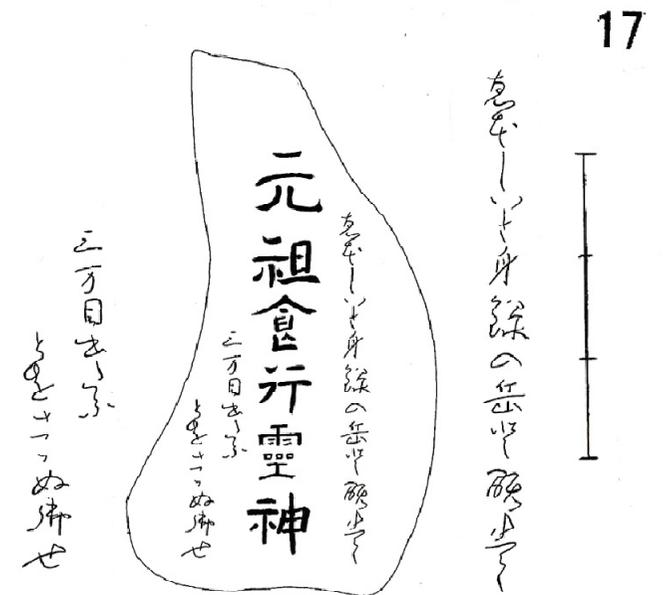
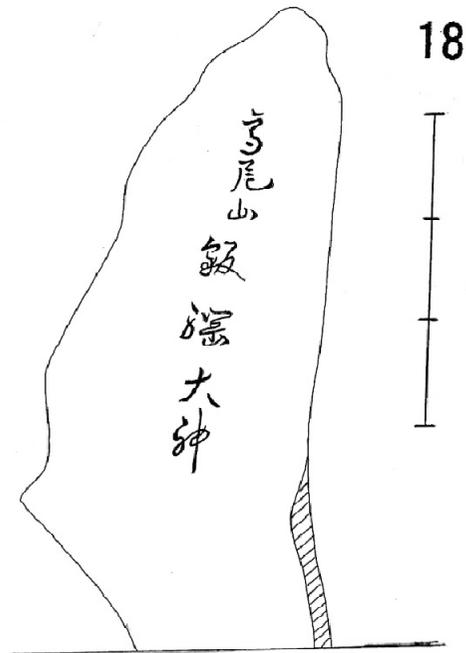
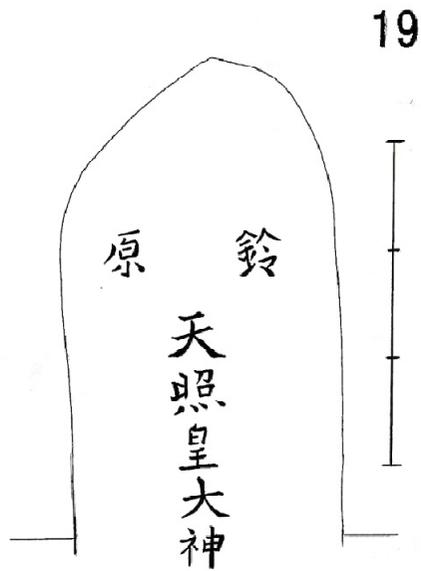
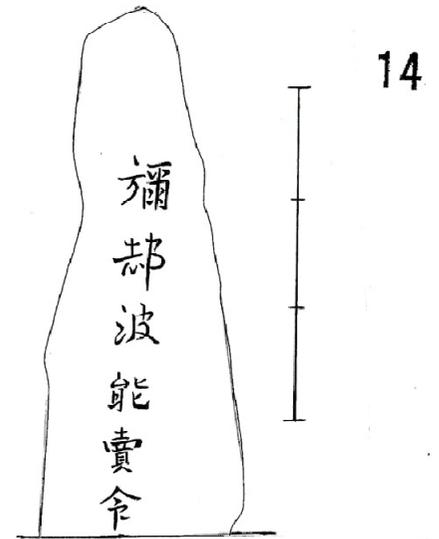
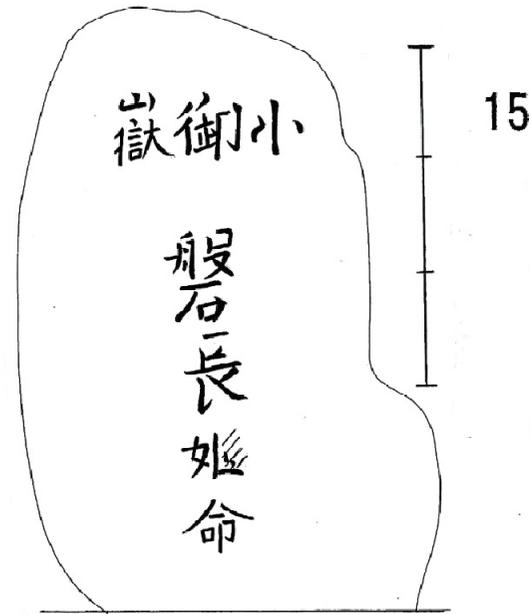
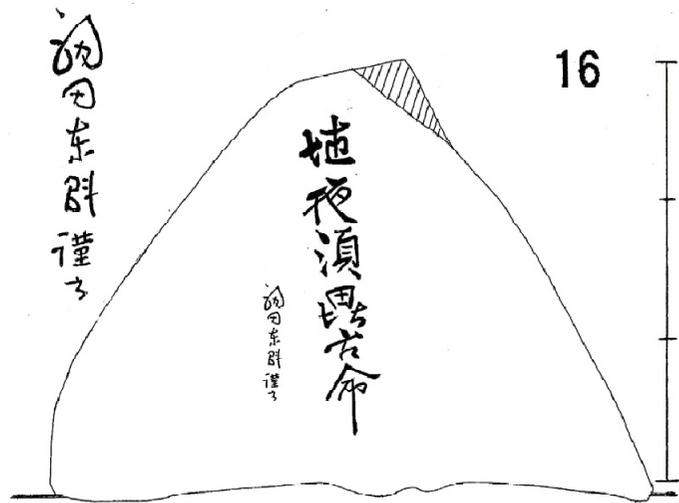


※一般公開していませんので、敷地内には入れません。

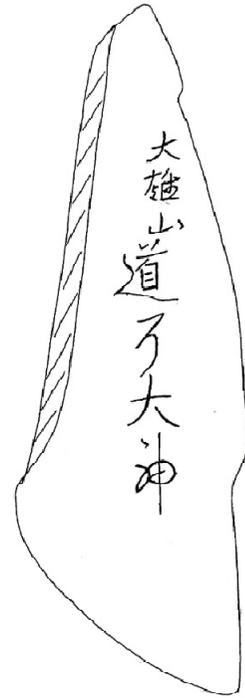
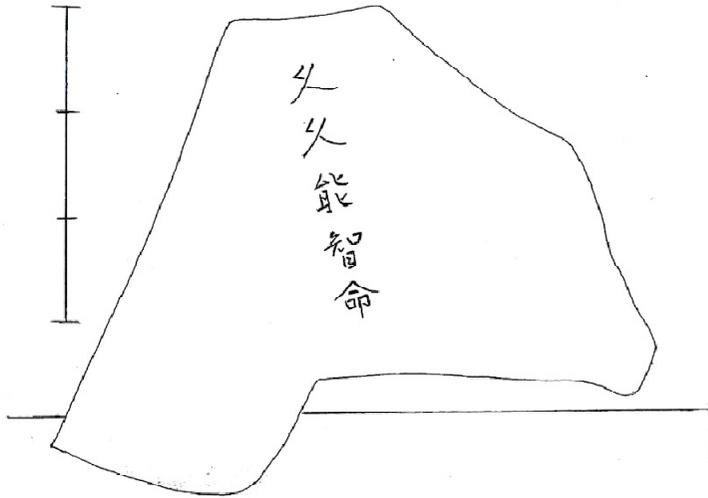
※鈴木敬真は先達を務め、地元の有力者でもあった。



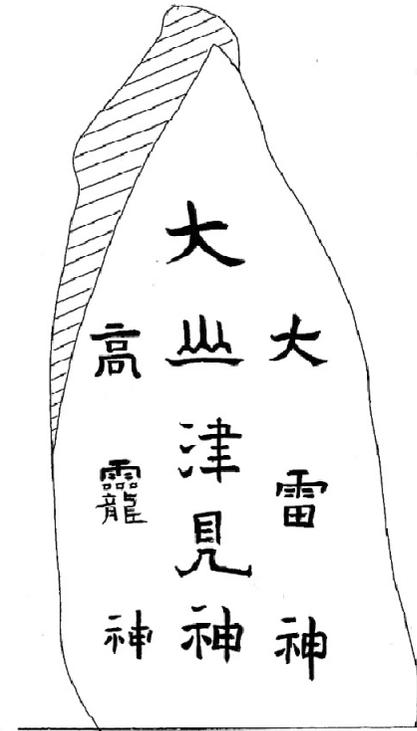
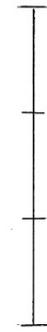




22



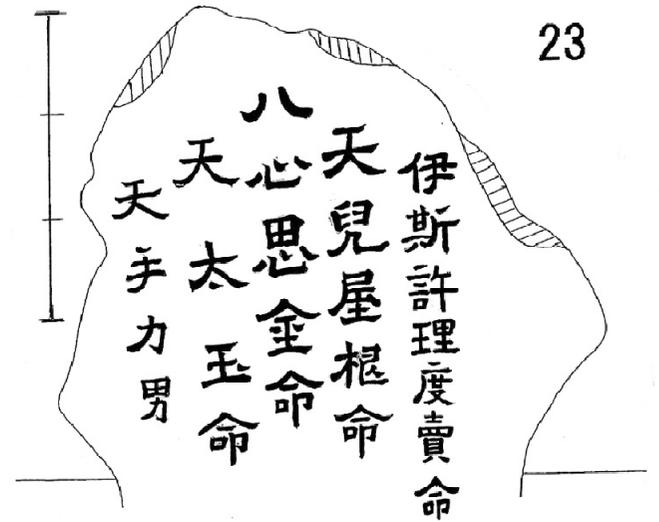
21



20



23



1 「表面」

日天
元祖靈神
月天

参明藤開山

※「元祖靈神」とは、富士講開祖の
長谷川角行をいう。

※「参明藤開山」とは、食行身祿をいう。

※富士講の先達の「鈴木敬眞」の文字あり。

敬眞は現当主の高祖父、俗名は百太郎、
「ももたろう」と読ませたか。
安政2年（一八五五）生まれ。

「裏面」

《中央》

明治十八年

一月庚□□建

《向かつて左端》

松伏村

石工

伊藤平蔵

謹彫

※明治十八年は、一八八五年、
明治十八年一月の造立か。

2

佐田彦大神

3

迦具突智命

4

短□□□

武□□□

5

□□（藤森力）□□

6

二世日旺大我
三世明心大我
四世月旺大我
五世月行□仲大我

※「□仲」は、「削仲」

7

須佐之男命

8

稻荷大神

9

金山毘古命

10

大国主
少彦名

11

扶桑教管長

前権大教正穴野半尊
下総国中葛飾郡水角村
扶桑教鑑事我道教師
天翔巖男意命

※「鑑事」は、監事の意味か。

※「巖男意」は「いわお」と読むのか。

12

筆学師須賀幸助大人
笔算学師岡埜□心大人

13

御開山角行靈神

14

弥都波能売命

15

小^こ御^み警^い長^わ姫^な命^ぎ
嶽^{たけ} 御^み警^い長^わ姫^な命^ぎ

16

〔表面〕

埴^は夜^こ須^や毘^す古^び命^の
細^ほ田^そ東^だ斟^{とう}謹^{しん}書^{んじょ}

〔裏面〕

宇^う比^ひ地^ぢ邇^に神^{のかみ}
須^す比^ひ知^ち迹^じ神^{のかみ}
角^{つの} 織^く 神^{のかみ}
活^{いく} 織^く 神^{のかみ}
大^{おお}斗^と能^の地^ぢ神^{のかみ}
大^{おお}斗^と能^の辨^{べん}神^{のかみ}
於^お母^も陀^た琉^る神^{のかみ}
吾^あ屋^や惶^く根^ね神^{のかみ}
伊^い邪^げ那^な岐^ぎ神^{のかみ}
伊^い邪^げ那^な美^み神^{のかみ}
細^ほ田^そ東^だ斟^{とう}謹^{しん}書^{んじょ}

大^{おお}斗^と能^の地^ぢ神^{のかみ}
大^{おお}斗^と能^の辨^{べん}神^{のかみ}
於^お母^も陀^た琉^る神^{のかみ}
吾^あ屋^や惶^く根^ね神^{のかみ}
伊^い邪^げ那^な岐^ぎ神^{のかみ}
伊^い邪^げ那^な美^み神^{のかみ}
細^ほ田^そ東^だ斟^{とう}謹^{しん}書^{んじょ}

㊦ ㊦

※㊦の模写



17

※「斟」の文字の解説は荒井正代氏

爰^あほ^ほしい^いは^は 身^み祿^{ろく}の^の岳^{たけ}と 頭^あわ^われて
元^が祖^そ 食^じ行^{ぎょう} 靈^{れい}神^{じん}
三^み万^ま目^め出^でた^た心^{こころ}
とを^とさ^さぬ^ぬ御^み世^よ

※「えぼしいわ」は、「烏帽子岩」
※「とをさぬ」は、「戸を差さぬ」

解釈(大谷達人氏)
おたに たつを

「烏帽子岩は身祿岳と呼ばれるようになって以来、どの方向からも見ても天の光が射し込み有難い所となったので、今の御世は戸を閉めて暗くなるような所ではなくなった」

18

高^{たか}尾^お山^{せん} 飯^い綱^{づな}大^{おお}神^{かみ}

19

鈴^{すず} 原^{はら}
天^{てん}照^{しょう}皇^{こう}大^{だい}神^{じん}

※「鈴原」とは「天照大神社」のことか。

20

大^{おお}雷^{らい}神^{かみ}
大^{おお}山^{さん}津^つ見^み神^{かみ}
高^{たか}竈^{かまど}神^{かみ}

※「竈」は、拡大すると「竈」

21

大^{だい}雄^{ゆう}山^{さん} 道^{どう}了^{りょう}大^{だい}神^{じん}

22

久^く久^く能^の智^ち命^{のみこと}

23

伊^い斯^し許^こ理^り度^ど賣^{ばい}命^{のみこと}
天^{あめ}兒^{のこ}屋^や根^ね命^{のみこと}
八^{やち}心^{しん}思^し金^{かね}命^{のみこと}
天^{あめ}太^の玉^{たま}命^{のみこと}
天^{あめ}手^て力^{ちから}男^{おとこ}

※1と6と17の解釈は、大谷達人氏の協力を得ました。